

日本ウマ科学会 2020 年度定時総会 議事録

日時 : 2019 年 11 月 26 日 11:00~11:50

場所 : KFC Hall & Rooms;KFC Hall

笠嶋庶務担当常任理事による開会の辞に続き、会則第 18 条に基づき青木会長が議長となり、2020 年度定時総会が開催された。開催始めに、上原伸美第二代会長への黙祷がなされた。なお、議事録署名人に石丸・森両会員を指名した。

議題ⅠおよびⅡが一括上程された。

議題Ⅰ 2019 年度事業報告（案）について

笠嶋庶務担当常任理事より資料に基づき説明があった。

議題Ⅱ 2019 年度収支決算（案）について

半澤会計担当常任理事より資料に基づき説明があった。主な点は以下のとおり。

- 正会員数は 20 余名増加した。賛助会員数は 8 社増加したため、会費収入は大きく増加した。
- J R A からの賛助金が 250 万円から 300 万円に増額された。
- 学術集会の参加者数増加により、参加費収入は予算額を上回った。
- 学術集会の企業展示収入は予算額を大幅に上回った。
- 国際特別会計の残高（2,011,628 円）を全額一般会計に繰り戻し、口座は解約した。
- 臨床特別会計は 1,531,139 円を認定馬臨床獣医師制度準備金として、「認定馬臨床獣医師制度会計」に繰り入れし、残全額（3,300,000 円）を一般会計に繰り戻し、口座は解約した。認定馬臨床獣医師制度会計は、本制度が安定的に推移するまで、当面の間、準備特別会計として扱うことが確認された。
- 国際会議派遣支援（海外渡航支援）への応募はなかった。今後は広報活動の強化に努め、積極的な利用を促す。
- HP については、日本ウマ科学会専用の新ドメインを取得した。

青木会長から、国際支援会議派遣支援費支出について、今後は広報活動の強化に努め、積極的な利用を促すとの説明があった。

次いで、監査報告が行われ、岩崎監事から 2019 年 11 月 6 日に業務監査した結果、事業が適正に運営されている旨の報告がなされた。

その後、議題ⅠとⅡは原案のとおり議決された。

議題ⅢとⅣが一括上程された。

議題Ⅲ 2020 年度事業計画（案）について

笠嶋庶務担当常任理事より資料に基づき説明があった。

議題Ⅳ 2020 年度収支予算（案）について

半澤会計庶務担当常任理事より資料に基づき説明があった。主な点は以下のとおり。

- 地方競馬全国協会からの協賛金は 15 万円から 30 万円への増加を予定している。JRAからは前年と同額の 300 万円を予定している。
- 企業展示収入は、一昨年度程度の収入予定を見込んで、やや減額とした。
- HP は新ドメインに変更する。HP をスマートフォンに対応したデザインに変更するための費用を広報費に計上した。
- Windows7 のサポート終了のため、学術集会用 PC を 2 台更新する。
- 大会開催費は、会場費値上げのため予算額を増額した。
- 印刷費は、講演要旨集の発表演題数増および 4 頁分をカラーページに変更したため予算額を増額した。

青木会長から、認定馬獣医師制度発足に伴い、同会計が設置された。この会計は、今後の運用を経て将来的には一般会計化していく方針が提示された。

その後、議題ⅢとⅣは原案のとおり議決された。

議題Ⅴ 学会賞、奨励賞、功労賞の選考結果について

笠嶋庶務担当常任理事より、学会賞に大村一会員、奨励賞に黒田泰輔会員、功労賞に石田信繁会員が選考され、事前の臨時理事会で承認されたとの報告があった。

議題Ⅵ 役員の改選について

笠嶋庶務担当常任理事より、2020-2021 年度の役員、評議員、その他委員会委員の候補者の選考結果が報告された。

なお、定時総会終了後に表彰式を行った。

以上、議事の顛末を記録し、これを証するため署名押印する。

2019 年 11 月 26 日

議 長

青木 修 

議事録署名人

石丸 睦樹 

議事録署名人

森 達也 